



東京湾再生官民連携フォーラム 平成 26 年度第 2 回企画運営委員会

1. 開催日時 平成 26 年 7 月 31 日 16:00～18:00
2. 開催場所 第 2 秋山ビル (虎ノ門 HILLS) 2 階ホール
3. 議事次第

《 審議事項 》

- 1) フォーラム設置要綱および運営ルールの一部改正について
- 2) 新 P T 設立における指示ミッションおよび P T 長指名について
 1. 東京湾パブリック・アクセス P T
(申請者：N P O 法人横浜創造まちづくり学会 会長 竹口秀夫 氏)
 2. 東京湾での海水浴復活の方策検討 P T
(申請者：認定 N P O 法人ふるさと東京を考える実行委員会 理事長 関口雄三 氏)
- 3) 平成 26 年度フォーラム総会および東京湾大感謝祭のプログラムの概要 (案) について

《 報告事項 》

- 1) P T 活動状況報告
- 2) 事務局報告
 1. ロゴマークの商標登録について
 2. ゴマーク最優秀者表彰について

4. 出席者

來生委員長、中村委員、古川委員、高島委員、岡田委員、工藤委員、田久保委員、木村委員、上田委員、露木委員、加藤委員、森代理、山田代理、小西代理、儀間委員、川村代理、林委員、鈴木 (健) 委員、須藤委員、新井委員、細川 (事務局)

5. 議事

- (1) 審議事項 1. 「フォーラム設置要綱および運営ルールの一部改正について」
 - ・フォーラム設置要綱および運営ルールの一部改正は、提案通り承認された。

《 決定事項 》

1. 設置要綱の一部改定
 - a) 第 4 章 役員 (選任) 第 7 条
現行の要綱では、議長に事故があるときの対応が規定されていないので、新たに規定する。
 - b) 第 7 章 企画運営委員会及びプロジェクトチーム 第 20 条 第 4 項
第 21 条第 2 項において、P T 指示ミッションは企画運営委員会で定めることとなっているので、P T 長の指名は、フォーラム議長から企画運営委員長とする
2. 運営ルールの一部改定
 - a) 【基本ルール】 2. 会議の種類と役割 (1) 2)、(2) 2) 及び (3)
設置要綱が改正され、P T の設置及びミッションは企画運営委員会で定めることとなったため、文章を修正する。

**(2) 審議事項 2. 「新 P T 設立における指示ミッションおよび P T 長指名について」**

・ 設立申請があった次の 2 つの P T について、企画運営委員会からの指示ミッション案に対して申請者との合意があり、新 P T 設立が承認された。その後 P T 長が指名された。

1. 東京湾パブリック・アクセス P T (P T 長: 横浜創造まちづくり学会 会長 竹口秀夫 氏)
2. 東京湾海水浴場復活 P T (P T 長: 認定 N P O 法人ふるさと東京を考える実行委員会 理事長 関口雄三 氏、田中 克哲氏)

(3) 審議事項 3. 「平成 26 年度フォーラム総会および東京湾大感謝祭のプログラムの概要(案)について」

・ 事務局から提案のあった平成 26 年度フォーラム総会の次第(案)および東京湾大感謝祭のプログラム概要について了承された。

《審議経過》

東京湾感謝祭について木村 P T 長および事務局から以下の要請があった。

【木村 P T 長】

1. 企画運営委員におかれても企業等への感謝祭出展協力やスポンサーで協力をして頂けるところがあれば声掛けをお願いしたい。
2. 各 P T は、必ず出展して頂きたい。新しい P T においても出展するつもりでお願いしたい。
3. 国、自治体においても東京湾再生に向けて取り組まれているので、何かしら出展するようお願いしたい。また、有料出展についてもぜひ検討頂きたい。

【事務局】

1. 国・自治体での感謝祭開催の PR と、自治体の「ゆるキャラ®」の出演の協力をお願いする。
2. 国・自治体の活動をパネル等で PR することを検討して頂きたい。

《報告事項》**1) P T 活動状況報告 (P T 長報告) 及び承認**

各 P T 長から活動状況が報告され、承認された。

田久保実行委員長 (東京湾大感謝祭 P T)

- ・ 予算の確保のために企業等に営業をかけているが、とても厳しい状況である。企画運営委員会委員からも企業等へ出展等の声掛けをして頂きたい。
- ・ 食と物販については、別の料金立てで営業をかけている。

上田 P T 長 (江戸前ブランド P T)

- ・ 3 つの柱について、具体的なアクション可能なものから着手していく。
 - ① 江戸前の食体験機会の向上。
 - ② 飲食業の江戸前使用頻度の向上。
 - ③ これらの情報の発信・運用。
- ・ 将来のブランド化を目指して、必要な人材を招聘したい。また、P T 会員新規参加を募集。
- ・ 江戸前認知・普及活動として、スーパー、デパート等での「江戸前コーナー等の設置」、メ



ディアによる「1日1江戸前プロジェクト（仮称）」等に取り組んでいく。

岡田 PT 長（指標 PT）

- ・フォーラム会員に、指標に関するアンケート調査を実施した。この回答は、指標づくりの参考にさせて頂いている。
- ・現在、指標一覧の小目標が（案）としてほぼまとまっており、それぞれの指標の目標値を作っている。
- ・今後のスケジュールとして、PT 内で政策提案（案）及び指標目標値を設定し、事前に企画運営委員会委員へメールで意見照会を行い、その後再整理を行い、第 3 回企画運営委員会（10 月 3 日）に諮ることとしたい。
- ・指標を用いて評価する時に、東京湾再生推進会議でデータを取得することが困難な指標があるので、これらの指標の実績は、主催団体の自主登録制とし、データ登録のためのシステムをフォーラム事務局のホームページに置くことをお願いしたい。

《審議経過》

【スケジュールについて】

- ・フォーラムから東京湾再生推進会議への政策提案の手順は、下記のとおり。
 - ①PT からフォーラム事務局へ文書で提出
 - ②事務局がフォーラム会員及び各 PT へ意見照会
 - ③PT から提出された政策提案を企画運営委員会で審議。その際に、事務局が意見照会によりフォーラム会員及び PT から出てきた意見を企画運営委員会での審議の際に紹介。
 - ④企画運営委員会で承認された政策提案をフォーラム総会で審議。
 - ⑤フォーラム総会で承認された政策提案を東京湾再生推進会議へ提案。

【データ登録システムについて】

- ・いろいろな団体が活動したデータを自主登録をして集めておくことは、官民連携フォーラムとして大事な機能である。
- ・フォーラムとしての進め方や、体制を考えるべきである。
- ・第 3 回企画運営委員会にこの形で提案された場合は、内容についても審議することで良いのでは。

《決定事項》

- ・今後のスケジュールとしては、PT 提案どおりのスケジュールとする。第 3 回企画運営委員会（10 月 3 日）で承認された指標 PT からの政策提案をフォーラム総会で諮ることとする。

なお、フォーラムから東京湾再生推進会議への政策提案の手順について、今後も丁寧に行うかどうかについては、今後の検討課題とする。
- ・データ登録システムについては、フォーラム事務局で、今あるホームページの中で、どれくらいのことができるか検討する。
- ・PT から提案された提案作成手順を前提に、政策提案作成の作業を進めていく。



古川 PT 長（モニタリング PT）

- ・5月から東京湾再生推進会議モニタリング分科会と連携で一斉調査の準備を行っている。8月6日に一斉調査が開始される。その一環として4月からアサリわくわく調査を実施している。マハゼの住み処調査は9月に一旦取りまとめるが、調査自体は12月まで継続実施する。これらの成果は、東京湾大感謝祭で、東京湾環境一斉調査のワークショップとして発表する。
- ・年度末は、東京湾環境マップ作成に協力する。

岡田副 PT 長（佐々木生き物生息場づくり PT 長代理）

- ・7月に東京都葛西海浜公園（東なぎさ）において生き物観察会を実施した。
- ・東京湾大感謝祭では、PT 活動の中間報告としてパネル展示を考えている。
- ・10月24日の東京湾シンポジウム（国総研主催）での発表を検討している。

2) 事務局報告及び承認

以下の項目が報告があり、承認された。

1. フォーラムロゴマークについては、來生新議長を代表者として現在商標登録の手続きを進めている。なお、企画運営委員会委員のフォーラムロゴマーク入り名刺を作成し、各委員へ配布するので活用頂きたい。また、ロゴマークはフォーラム関連の活動のいろんな場面で活用し普及願いたい。
2. 採用したロゴマーク提案者をフォーラム総会で表彰する。

了